

京都嵯峨芸術大学 広報


本学関係者による展覧会情報	
<p>■ 江村耕市／メディアデザイン</p> <p>『キュピキュピと石橋義正 SickeTel』 日時：～11月3日(水・祝) 会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(香川)</p>	<p>■ 瀧澤賢福／洋画・ミクストメディア</p> <p>『茨木市展』 日時：10月1日(金)～10日(日) 会場：茨木市役所 南館(大阪)</p>
<p>■ 大沼憲昭／日本画</p> <p>『大沼憲昭日本画展』 日時：9月22日(水)～28日(火) 会場：京都高島屋(京都) 日時：2011年1月19日(水)～25日(火) 会場：大阪高島屋(大阪) 日時：2011年2月9日(水)～15日(火) 会場：日本橋高島屋(東京)</p>	<p>『6人の表現』 日時：10月12日(火)～17日(日) 会場：ギャラリーあじさい(兵庫)</p>

附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」／連続公開講座「京の美意識」スケジュール	
<p>附属博物館</p> <p>■ 『絵は詩のごとく、詩は絵のごとく マリアヌ・クルーゾの世界』 日時：10月10日(日)～11月6日(土) 10時～17時 休館日：10月17日(日)、24日(日)、31日(日) 主催：京都嵯峨芸術大学</p> <p>マリアヌ・クルーゾ(1908-2007) フランスの女流画家。マリアヌは生涯を通じて、言葉によって想像力を喚起された絵画作品を多く残しました。激動の時代の中で、時代の潮流に左右されず、妥協することなく、透明感溢れる作品を描き続けたマリアヌ・クルーゾの作品(油画、版画、パステル画、挿画、立体作品)を展示します。また、現在では希少となった「ポショワール技法」を行使した、豪華な挿画本も併せてご覧ください。</p> <p>■ 『郷土文化をつたえる～面～ 京都嵯峨芸術大学所蔵品より』 日時：11月23日(火・祝)～2011年1月22日(土) 10時～17時 休館日：日曜日、12月24日(金)～2011年1月10日(月・祝) 主催：京都嵯峨芸術大学</p>	<p>■ 『第8回 SAGA ART JAM展』 日時：11月29日(月)～12月5日(日) 10時～17時 ※最終日は16時まで 無休 主催：SAGA ART JAM</p> <p>■ 『大学院修了作品展』 日時：2011年1月8日(土)～14日(金) 10時～18時 ※最終日は16時まで 無休 主催：京都嵯峨芸術大学大学院</p> <p>■ 『めぐるめぐるファンタジー 絵本とその原画展』 日時：2011年1月16日(日)～23日(日) 10時～18時 ※最終日は17時まで 無休 主催：京都嵯峨芸術大学文化事業課 ※展覧会スケジュールは都合により変更になる場合があります。ご了承ください。</p>
<p>連続公開講座「京の美意識」スケジュール</p> <p>四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加無料)。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(一冊千円)。</p> <p>■ 第56回10月16日(土)「京都風呂敷七変化」 掛札英敏<(有)京都掛札></p> <p>■ 第57回11月6日(土)「京の出版事情 観光ガイド今昔」 堤勇二<京都学園大学非常勤講師></p> <p>■ 第58回12月11日(土)「鶺鴒ー鳥、人、川のつながりからー」 江崎洋子<鶺鴒匠・本学卒業生></p> <p>■ 第59回2011年2月19日(土)「螺鈿の魅力について」 野村守<嵯峨螺鈿 野村> ※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて。 お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898</p>	

出版情報／メディアでの紹介		
<p>■ 藤川桂介客員教授が執筆した書籍が刊行</p> <p>書籍名：『幻視行 月の都、京都』 著者：藤川桂介 出版社：淡交社 定価：1680円(税込) 発行日：2010年9月24日 ISBN:978-4-473-03670-4</p>	<p>■ 大森正夫教授がディレクターを務めた芸術文化の祭典『神戸ビエンナーレ2009』のドキュメント本が刊行</p> <p>書籍名：『港で出合う芸術祭 神戸ビエンナーレ2009』 著者：大森正夫+神戸ビエンナーレ組織委員会事務局 出版社：美術出版社 定価：1800円(税込) 発行日：2010年8月20日 ISBN:978-4-568-50422-4</p>	<p>■ 大森正夫教授の研究活動がテレビ番組で紹介(予定)</p> <p>10月9日(土)、午後8時～8時44分放送予定のNHK 総合テレビ『ワNDER×ワNDER』「銀閣 将軍が夢見た月の館」にて、大森正夫教授の研究活動がクローズアップされます。</p> <p>番組名：『ワNDER×ワNDER』 放送局：NHK 総合テレビ 放送日：10月9日(土) 午後8時～8時44分(予定) ※再放送は翌週火曜日(翌週月曜日深夜)の午前1時5分～1時49分。変更になる場合もあります。</p>

京都嵯峨野文化サロン 第9回企画	テーマ：『平家物語』ー乱世を生きる公達の哀しみー
<p>旧嵯峨御所大覚寺門跡で平家の若者たちの想いを辿ってみませんか。</p>	<p>日時：2010年10月2日(土)17時10分～ 場所：旧嵯峨御所 大覚寺門跡 講演：『公達の最期ーその諸相と虚実』元木泰雄(京都大学大学院教授) 公演：『清経』(作曲：野田燎、京都初演) 野田燎(サクソフォーン)、田中鶴旺(薩摩琵琶)、宮崎青敏(尺八) 参加費：A席4,000円、B席3,000円 ※本学学生、卒業生は無料です。 ※お申込みは、文化事業部Tel.075-864-7898まで。</p>

「編集後記」
広報誌34号が完成しました。今回の特集では前号での対談の後半部分を紹介しています。本稿作成時は学内が耐震補強工事の真っ只中。猛暑の中、200名を超える工事スタッフが手際よく計画的に進めてくれますが、クレーンやショベルカーが入り、壁を取り払ったり床をはがしたり、鉄骨を組み込んだり塗装し直したりと予想以上に大掛かりな工事です。後期の授業からは学内スペースがほぼ一新されるはず。改修リニューアル後の姿が楽しみです。(広報室)

 <p>KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS</p>	<p>学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学 大学院・芸術学部・短期大学部</p>	
<p>京都嵯峨芸術大学広報 第34号 2010年9月15日発行 編集：京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室 発行：学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学 〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7859 FAX.075-881-7133 info@kyoto-saga.ac.jp www.kyoto-saga.ac.jp</p>		



34